連続歴史講座

祈りと祭りの考古学

2016年11月5日（土）13:00～
愛知県埋蔵文化財調査センター２階研修室

古代のまじない

池本正明

キーワード：「（木製）形代」、「墨書・刻書土器」、「神仏習合」

考古学から古代のまじないを語るのは資料が断片的となる。そこで、タイトルをやや拡大し、「まじない」を祭祀の範疇と考え、愛知県とその周辺を中心とした、遺構・遺物から見た古代の祭祀を紹介する。

カミ（オニ）・ホトケは主に自然現象などを擬人化した概念と考えられる。これらに対する「招福除災」の祈りを祭祀と言う事ができるだろう。この場合、不適切な手順では願いが聞き入れないばかりか、施主に「たたる」とも信じられており、これらに対応した作法が存在している。

ところで、祭祀から古代を捉えると、神祇信仰（日本の基層信仰）に仏教（普遍宗教）が浸透する時期に該当する。いわゆる神仏習合だが、各段階に性格差も存在する。一方では、施主の階層差も部分的ではあるが視覚的に区分が可能となる。こうした状況から、古代の信仰は多様な様相を見せる。

祭祀との関わりが考えられる遺構・遺物を「祭祀遺構」「祭祀遺物」と呼ぶ。祭祀遺構は祭りの場と祭祀遺物を保管または廃棄した場所。祭祀遺物は専用に製作されたものと、日用品を転用したものがあり、後者は判別が難しい場合が多い。

なお、今回は３つのキーワードを用意した。「（木製）形代」、「墨書・刻書土器」、「神仏習合」である。

▲ 三重県　多度大社

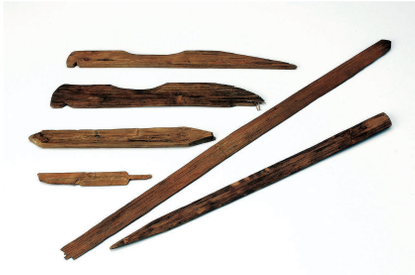
▲ 多度大社　御手洗所

次回は11月19日（土）「戦国の呪術」鈴木正貴

お問い合わせ先
公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
〒498-0017　愛知県弥富市前ケ須町野方 802-24
Tel. 0567-67-4163　Fax.0567-67-3054
http://www.maibun.com/top/

▲名古屋市北区　志賀遺跡　遠景

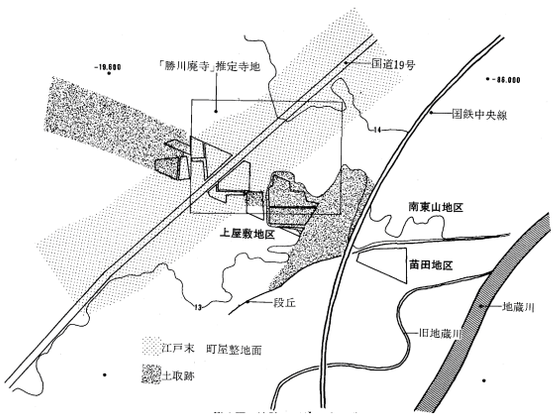
▲遺構図（1:10000）



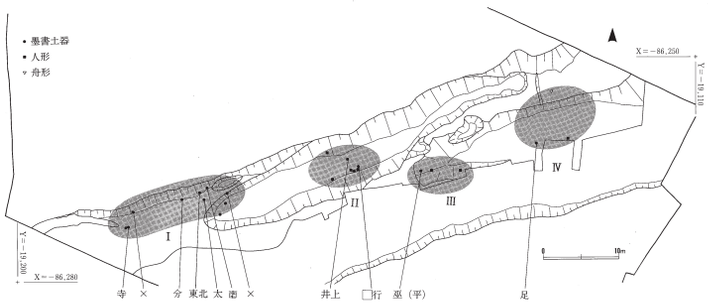
▲木製形代

▼春日井市　勝川遺跡 62F 区

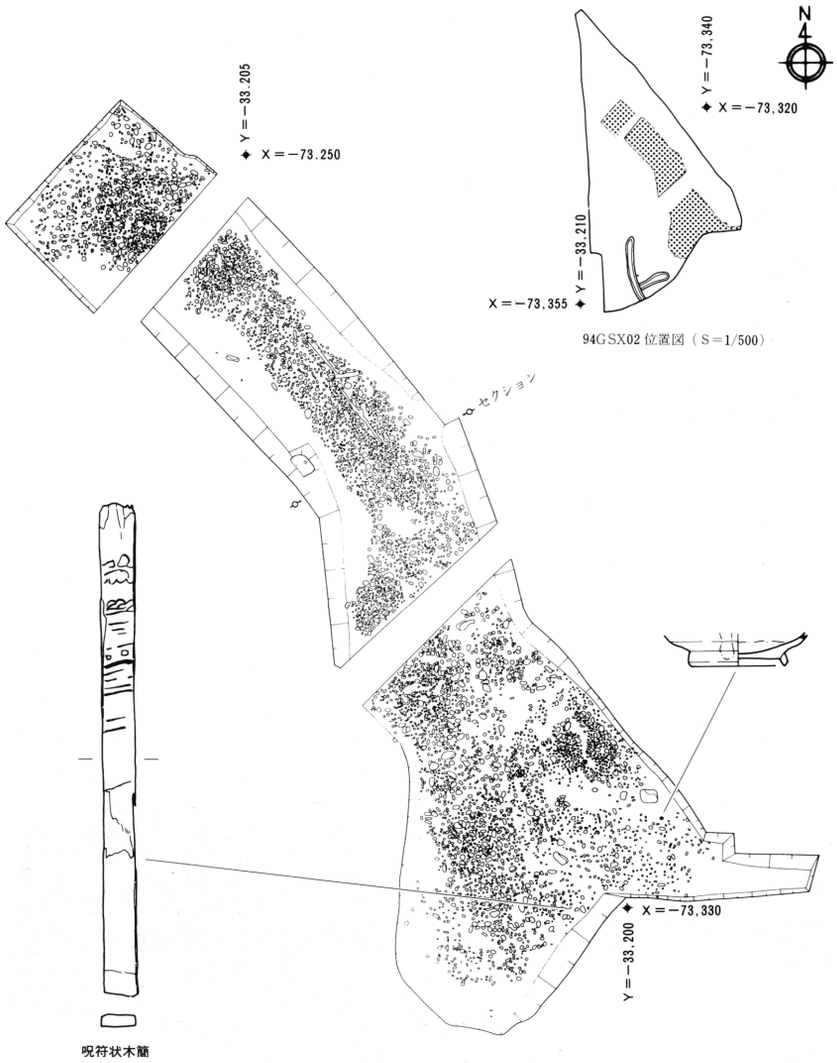
△木製人形



▲勝川遺跡概念図



▲62F 区 NR01（1:100）



◀ 一宮市大毛沖遺跡 94G 区 1:100

▲ 呪符状木簡拡大

◀ 安城市　惣作遺跡　遠景

▲▼ 出土墨書土器

◀ 惣作遺跡 C 区一面全景

▲ 日進市　金萩遺跡

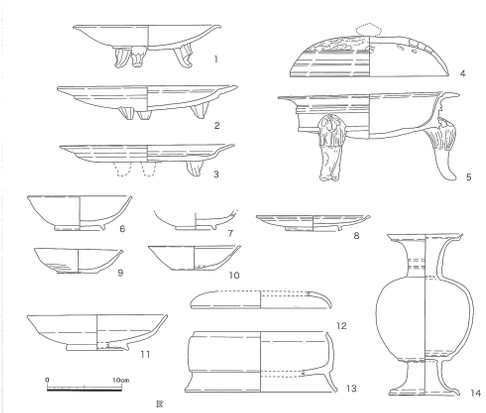
▲ 線刻土器

▲ 土鈴

▲ 稲沢市　儀長勝楽寺遺跡 018SK

▲ 一宮市　大毛池田・大毛沖遺跡出土 瓦鉢

▲ みよし市黒笹 89 号窯出土



▲ 名古屋市昭和区　八事小堂出土遺物（1:10）